

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	14	課題区分	C	令和8年(2026年)4月7日
横断的な課題	地域資源や特性を活かし地域を支える産業振興					南信州地域振興局
地域重点政策	地域資源や特性を活かし地域を支える産業振興					
実施機関	南信州地域振興局					
事業名	JR東海等と連携した南信州地域への誘客促進			担当課	所属	商工観光課
					電話	8-237-2262
					E-mail	<a href="mailto:minamichi-shokan@pref.nagano.lg.jp">minamichi-shokan@pref.nagano.lg.jp</a>
事業の概要等	目的 (目指す姿)	リニア中央新幹線の開業及び三遠南信自動車道の開通を見据え、南信州地域ならではの強みや特性を活かした観光資源を幅広くPRするとともに、観光誘客に向けて地域一体となった観光振興を推進する。				
	現状と課題	・平成30年度の長野県観光機構による来訪者満足度等アンケート調査によると、観光目的で南信州地域を来訪する国内旅行者のうち、東海地方からの旅行者の割合は59%と半数以上を占めており、当地域における東海・中京方面に向けた観光PRは特に重要である。 ・また、令和5年度、名古屋市栄で開催された第69回名古屋まつりにおいて行った南信州認知度アンケート調査では、「南信州に一度も行ったことがない」と回答した者の割合が7割以上を占め、南信州全体の認知度向上が喫緊の課題となっている。 ・リニア中央新幹線による来訪者はもとより、観光客やつながり人口、移住者、企業誘致を増やすためには、南信州地域の認知度向上を図り、まず多くの人にこの地域に関心をもってもらう必要がある。 ・昨年度に引き続き、「南信州地域」の認知度向上と誘客促進を図るため地域の強みを活かした消費につながる観光コンテンツづくりと、中京圏向けの認知度向上及び誘客促進事業を並行して実施していく。				
概要	内容	【JR急行「飯田線秘境駅号」を活用した誘客・物販促進事業】 ・JR東海が運行するイベント列車 急行「飯田線秘境駅号」に併せて、地元特産品の販売や観光PR、ご当地キャラ等によるお出迎え等のおもてなしイベントを実施する。 時期：イベント列車の運行に併せて春と秋に開催(春:5/24,25,31、6/1,7 秋:10/25、11/8,9,15,22,29) 場所：JR平岡駅 桜並木駐車場 出店者：地元特産品販売事業者、市町村観光協会、観光事業者、市町村等				
	(変更後の内容)	【JR尾張一宮駅での観光プロモーション事業】 ・JR尾張一宮駅は、1日当たり約54,000人が乗降する駅であり、JR飯田線の起点駅であるJR豊橋駅とも接続している。昨年度に引き続き、当該駅構内に管内全14市町村の観光パンフレットを設置し、南信州地域の情報発信を実施する。 時期:R7.4~R8.3(JR東海に協力いただき、R6年度に引き続きパンフレットラックを常設) 場所:JR尾張一宮駅 切符売り場前及び改札内スペースの2箇所				
事業期間	令和7年4月 ~ 令和8年3月					
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画額	備考		
	【JR急行「飯田線秘境駅号」を活用した誘客・物販促進事業】	地元特産品の販売や観光PR、ご当地キャラ等によるお出迎え等のおもてなしイベントを実施	396,104	・パンフレット増刷247千円 ・アッセンブル袋制作費 99千円 ・ガソリン代 36千円 ・会場使用料 14千円		
	【JR尾張一宮駅での観光プロモーション事業】	JR尾張一宮駅構内に管内全14市町村の観光パンフレットを設置し、南信州地域の情報発信を実施	23,389	・職員旅費 18千円 ・パンフレット郵送代 5千円		
合計			419,493			
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況	
	JR急行「飯田線秘境駅号」を活用した誘客・物販促進イベントの参加団体数(R6:15団体)		16団体	16団体	一部達成	
	JR尾張一宮駅で配付したパンフレットの総部数(R6:16,550部)		16,600部	8,380部		
事業実績・成果						
【JR急行「飯田線秘境駅号」を活用した誘客・物販促進事業】 ・春と秋の運行併せて延べ11日間にわたって開催した。雨天により屋内に会場を変更して開催した日もあったが、11日間で延べ3,000人以上の方に来場いただいた。初参加の事業者・市町村もあり、多様な主体が関わることで、南信州地域の魅力発信に大きく貢献する取組となった。JR飯田線は当地域における重要な観光コンテンツの一つであり、引き続き、JR東海と連携した南信州のPRを継続的に実施していく。 【JR尾張一宮駅での観光プロモーション事業】 ・管内全14市町村及びDMOと連携し、南信州地域の観光パンフレット等の常設PRを行った。効率的な配布を行った結果、昨年度の実績から減少したものの、R7.4月からR8.3月までの一年間で合計8,380部を配布し、東海・中京圏を主とする駅利用者に向けて最新の観光情報をPRすることができた。 ・通年の常設配架を継続したことで特別感・新規性が薄れ、定着した(手に取られる機会が減少した)可能性がある。						
今後の方向性						
・リニア中央新幹線の開業及び三遠南信自動車道の開通を控える中、東海・中京圏に向けた観光PRは依然として重要であり、引き続き、JR東海と連携した南信州地域の魅力発信・観光プロモーションを継続して実施していく。 ・また、南信州の地域資源や強みを活かした地域内周遊・宿泊客の増加等、観光地消費額の向上に向けた観光振興の取組や認知度向上のための取組を実施していく。 ・継続的なプロモーションでは、興味関心を引く方法を検討していく。						